平成22年度　事務事業評価外部評価審議一覧表

資料4

No.	事業コード	担当課	事務事業名	平成21年度の取組状況	平成21年度事業費（フルコスト）	総合評価	23年度の方向性（担当課）	23年度の方向性（部会意見）	外部評価意見
1	1325Bd1	家庭福祉課	家庭児童相談室設置費	家庭における適正な児童養育のため、相談員2名を配置して相談指導業務の充実に努めた。また、関係機関との連携を密にして要保護児童の早期発見や適切な保護を図った。	¥5,084,000	A	現状維持	現状維持	虐待事件が相次いで報道されており、三沢市においても関係機関が連絡を密にし、情報の共有化を徹底してほしい。（個人情報がまちがった方向で妨げにならないように）
2	1340Bc2	介護福祉課	介護予防一般高齢者事業	介護予防教室； ・在宅介護支援センター委託分＝11地区203回・延2537人参加 ・自主活動分＝13地区170回・延2473人参加＊ ・介護福祉課(いきいきディセンター実施分)=24回・延542人 介護予防講演会；271人参加 ＊自主活動地区には補助金を交付し活動を支援し定着化、活性化を図った。	¥8,409,000	A	現状維持	見直し（拡大（予算を伴う））	参加者の追跡調査など統計を適切に取り、分析することが肝要。介護予防教室の開催地域、回数を増やすとともに、集会所等を利用して生き生きディセンターのサテライトのような拠点を作り、この事業を充実して行くことで、介護予防や介護認定が軽くなった人などが、高い負担を伴うディサービスを利用する必要も少なくなると思われる。
3	1420Bc1	介護福祉課	介護給付等費用適正化事業（再掲）	新規申請及び区分変更の要介護認定調査については市直営で実施した。 調査員の研修も受講している。	¥8,974,000	B	現状維持	見直し（拡大（予算を伴う））	介護認定において、正確性、公平性などの精度をあげるためにも市直営の調査員を増員することが望ましい。同時に認定調査員の研修を強化して資質の向上を図ってほしい。
4	2430Ab1	生活安全課	生活対策費（消費者の会補助金）	多種多様な消費者問題に対応できる「自立した消費者」を目指し、各種講習会への参加及び学習会等を開催して会員の資質向上に努めている活動に対して補助金を交付して支援した。	¥285,000	B	見直し（縮小（予算を伴う））	見直し（予算を伴わない）	消費者の会の活動に対して、必要ならば要望をしっかり伝え、連携強化を図りながら、消費トラブルの防止・相談に対して頂きたい。
5	2430Ac1	生活安全課	消費生活窓口事業	消費者問題研修会等に参加し、相談業務担当職員の実務能力向上を図った。	¥246,000	A	現状維持	見直し（予算を伴わない）	相談内容により様々な方向からのアドバイスが必要なことは分かるが、時短、安心の面からも市の窓口で解決できるケースを増やして頂きたい。そのためにも相談窓口担当者の能力向上、専門家の配置を進める必要がある。 パンフレットだけではなく、他機関の専門家との連携を強化し、適切な情報提供を推進して欲しい。
6	4220Bx1	観光物産課	畜産業費(市牛・じゃがまつり実行委員会補助金)	メインのイベントとして「畜産共進会」を行ったほか、「いもほり体験」その他集客メニューを実施。	¥4,706,000	C	見直し（縮小（予算を伴う））	見直し（予算を伴わない）	・三沢産農畜産物の販売促進のためであれば、スーパーなどで販促活動をするような方法が有効 ・イベントとしては、客単価を上げるような工夫が必要 ・市民のみならず観光客もターゲットにするような展開も考えられるのではないか
7	4220Cx2	観光物産課	（仮）産直郷土食フェア運営費補助金	みさわ地産地消フェアと題し、アメリカ広場とその周辺を会場として、ステージショーや各種アトラクションとともに野菜や魚介類を販売するイベントを12月の日曜日に実施した。	¥20,215,000	C	見直し（予算を伴わない）	廃止	・莫大な経費をかけて、目的効果が明らかでない。平成21年度と同じ事はやるべきでない。 ・イベント後の効果をきちんと確認する ・イベントの評価（総括）が必要
8	4411Ac1	産業政策課	商工振興費（商工会商工振興事業費補助金他）	商工会商工振興事業実施状況。 ・経営改善普及活動強化対策事業 ・商工振興対策事業 ・商業街区活性化推進事業 ・誘客推進対策事業 ・商店街共同事業支援事業	¥18,538,000	B	現状維持	効果の測定が行われていないため、判断できない	・商工会の事業だとしても、内容がわかるように公表すべきではないか、公表する仕組みをつくるべきでは？ ・補助金の効果を確認すべき ・今後の方向性を判断するため、効果を測定することが欠けている
9	5110Bb2	政策調整課	三沢市青い森鉄道活用会議事業	平成18年度に三沢市青い森鉄道活用会議において青い森鉄道の利活用促進策及び振興方策について協議しており、昨年度は三沢市青い森鉄道活用会議における協議はしていないが、昨年度は沿線市町の担当課長で組織される「青い森鉄道利活用推進体制検討会」において、新たな利活用推進組織の設置に係る協議をした。	¥0		現状維持	見直し（予算を伴わない）	「青い森鉄道」へ移管後の乗降客の予想、影響の予測さらには効果の検討を早期に行い、対応を望む。

事業費（フルコスト）＝人件費＋直接経費（国庫支出金、一般財源ほか）

平成22年度　事務事業評価外部評価審議一覧表

資料4

No.	事業コード	担当課	事務事業名	平成21年度の取組状況	平成21年度事業費（フルコスト）	総合評価	23年度の方向性（担当課）	23年度の方向性（部会意見）	外部評価意見
10	5111Ca1	政策調整課	交通拠点整備費（三沢空港振興会負担金外）	三沢空港の利便性向上を図るために、三沢空港振興会及び三沢空港利用促進期成会を通じ、青森県及び㈱日本航空へ要望活動を実施。 ※青森県：重点事業要望項目で東京便4便体制の復活等を要望。 ㈱日本航空：東京便4便体制の復活等を要望。	¥1,417,000	B	見直し（予算を伴わない）	見直し（予算を伴わない）	航空業者の状況と新幹線延伸に対する対応の問題点は先行き不透明である。状況を十分分析しながら要望内容を見直す時間をとって、実現可能な要望活動を望みます。さらに、活動状況の情報提供を密にして頂きたい。
11	5120Bb1	産業政策課	市街地循環100円バス運行補助事業	100円バスによる市街地の利便性確保を図るため関係機関と協議を実施した。	¥4,077,000	D	廃止	廃止	新規事業は100円バス以上の市民サービスを提供して頂きたい。運行コースの多様化や料金体系の適正化を行い、多数の市民が利用できる、真の「コミュニティー」バスへ移管して頂きたい。
12	5210Ba1	都市整備課	中央町地区都市再生土地区画整理事業	前年度に引き続き歩道整備工事（ILB舗装、電線地中化、融雪設備、照明灯設置）を行い、ハード面の整備が全て終了した。これに伴い、次年度に実施予定の換地処分に向け、出来形確認測量、換地計画作成の業務を実施した。	¥300,314,000	A	事業完了		完了事業であるが、更なる利便性の向上に向けて、駐車場やアメリカ広場の活用等、新しい整備計画が必要と思われる。
13	5210Bx1	産業政策課	市立三沢病院移転跡地利用検討事業	市立三沢病院跡地利用事業者提案募集要項に基づき、「鑑定評価額による跡地の一括売却」という条件で購入希望者からの事業提案を公募した結果、応募はなかった。	¥2,315,000	A	現状維持	現状維持	活用計画が進んでいる点を評価しています。早急に、進行状況の情報提供を願います。今後は、今までの市街地活性化事業の問題点を検証し、市民に有効な活用計画を望みます。
14	5410Db2	産業政策課	戦略的中心市街地商業等活性化支援事業	MGプラザの完成及び「街の駅みさわ」の開設に伴い、13のイベントを実施した。	¥1,737,000	A	見直し（予算を伴わない）	廃止	完了事業であるが、活用されているとは言いがたい現状である。契約不履行やMGI運営等の積み残された問題点の早期解決が必要である。
15	5410Dc1	産業政策課	戦略的中心市街地商業等活性化支援事業（再掲）		¥4,000		見直し（予算を伴わない）	見直し（予算を伴わない）	施設活用および市街地活性化のための「新戦略」策定と早期実施を望む。例えば、イベント使用に限られているアメリカ広場を日常的、多目的に利用可能にするなど、市民が集い、誇れる方策を望みます。
16	5410Ec1	産業政策課	幸町市営駐車場利便性向上管理運営検討	MGプラザの完成等に伴い、運営を検討した。	¥0	A	現状維持	見直し（予算を伴わない）	アメリカ村を中心とした市街地活性化と連携をとって立体駐車場など設備の充実を望みます。予算の問題は、活性化に伴う利益を長期的に試算して充ててほしい。

事業費（フルコスト）＝人件費＋直接経費（国庫支出金、一般財源ほか）